



学校再開！子どもたちの笑顔が戻る

～1年生は入学式、2年生以上は始業式以来の全員登校～

校長 大橋 良人

4月以来の全員登校で学校に子どもたちの笑顔が戻ってきました。登校して来た子どもたちから「おはようございます。」と元気なあいさつが聞こえてきました。やっと学校再開の実感とともに、子どもが登校してこそ学校だなど改めて感じました。長い休校期間中、子どもたちはいろんな制約の中での生活に精神的疲労が溜まっていたかと思います。この間、ご家庭ではお子様を温かく見守っていただきありがとうございます。仕事を持ちながらのご家庭が多いかと思いますが、休校期間中ご理解ご協力いただきましたこと厚くお礼申し上げます。地域の方々にもお世話になりました。ありがとうございました。

学校は再開しましたが、休校で登校日が少なくなった分の「学習保障」や新型コロナウイルス感染防止対策の継続などで、今後の教育活動も制約されることが多くあります。

学校は、滋賀県や東近江市教育委員会の指導の下、子どもたちの「安心・安全」を最重要課題と踏まえながら、学校行事の見直しを図り教育課程を編成していきます。詳しい内容については、5月28日付保護者向け文書「教育活動の再開と留意事項等について（お知らせとお願い）」をご覧ください。引き続きご理解・ご協力のほどよろしく申し上げます。



5月26日（火） 学校再開に向け運動場の除草作業実施 ＝地域の方々のご協力に感謝＝

先日、学校地域連携コーディネーターの小嶋先生を通じて僧坊の営農組合の方から、休校中の運動場の雑草の様子を見て、除草作業協力のお申し出がありました。今年度は、休校で運動会が中止となりPTA作業も実施できていませんでした。学校の職員も少しずつ草刈りを行っていましたが追いつかない状況となっていました。

そこで、小嶋先生に相談させていただき、僧坊の営農組合の方、PTAから外村会長、武田整備部長、本部役員の谷田さんのご協力をいただき、5月26日（火）の午前に除草作業を実施いたしました。休校中伸びきった草は大敵でしたが、皆様のご協力のおかげで運動場が蘇り、子どもたちの学習環境を整えることができました。本当にありがとうございました。



最新式
リモート草刈り機
(武田さん持参)

僧坊の営農組合の方々が、それぞれ軽トラックや草刈り機を持ってきて作業をしてくださいました。



危険な斜面での除草作業



学校教育活動再開後の学習指導について県教委より下記の通知が来しました。本校も柔軟な対応で子どもたちの指導にあたります。

臨時休業期間に伴う未指導分の学習保障に対応するため、単元や題材の学習指導計画を家庭学習も含めて構想する等、柔軟な対応が求められます。また、単元や題材のまとまりの中で、子どもが考える場面と教員が教える場面をどのように組み立てるか、といった視点が重要になります。

「学校」で行う学習	「家庭」で行う学習
<p>子ども一人ひとりの学びの状況に応じた基礎的・基本的な知識・技能の指導や、「読み解く力」の視点を踏まえた授業づくりの充実を図る。</p> <p>【学習場面例】</p> <p>①新しい知識・技能を習得する。</p> <p>②それぞれの考えを交流し、関連付けて整理する。</p> <p>③学習をまとめたり、振り返ったりする。</p>	<p>学校で学習した内容の習熟を図ったり、知識・技能を活用する課題を設定したりする。</p> <p>【学習場面例】</p> <p>①学んだ知識・技能を確実に身に付ける。 (反復・練習等)</p> <p>②学んだ知識・技能を使って考える。 (活用・発展等)</p> <p>③教科書や資料等を読んだり、調べたりする。 (内容の理解、確認等)</p> <p>④実際にやってみる。(製作、演奏等)</p>



「学校で行う学習」と「家庭で行う学習」を関連付けた単元（題材）の学習指導計画

「子どもが考える場面」と「教員が教える場面」のバランスを考える。

子どもが考える場面	教員が教える場面
<p>学習のねらいに応じて、子どもが問題解決的な学習や体験的な学習を行う場面</p> <p>【ポイント】改めて「対話的な学び」を考える。</p> <p>「対話的な学び」とは、子ども同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深めることです。</p> <p>◆話し合い活動だけではなく、付箋やICT機器等を活用して、互いの考えを共有する。</p> <p>◆子どもが、ノート等で自分のこれまでの学びを確認するなど、過去の自分と対話しながら、課題の解決に取り組む。など</p>	<p>子どもが、基礎的・基本的な知識・技能を確実に身に付けられるよう、学習の仕方を知ったり、学習したことをまとめたりする場面</p> <p>【ポイント】教師の話し方や説明の仕方を工夫する。</p> <p>ペアやグループでの活動を設定しにくい状況では、教師の説明するスキルがより必要になります。</p> <p>◆子どもが課題意識をもつような話し方をする。</p> <p>◆子どもに伝えるための言葉を精選する。</p> <p>◆効果的な教材を提示する。</p> <p>◆ICTを活用した説明資料の提示をする。など</p>